

2019 S5 リテーラー組立マニュアル

cervélo

cervélo

目次

重要な情報.....	1
ツールと備品のリスト.....	2
2019 S5 パーツリスト.....	3 フレームの特徴.....
4	
ハンドルバー&ステムコンポーネント.....	5
ハンドルバーコンポーネント - スタック.....	6
ハンドルバーコンポーネント - ピッチ調整.....	7
フォークとヘッドセットのコンポーネント.....	8
小さな部品.....	9
フレームの準備.....	10
S5アセンブリの概要.....	11
構築する前に.....	13
電気ケーブルの準備.....	14
機械ケーブルの準備.....	15
ブレーキハウジングの配線.....	16
電気ケーブル配線.....	18
機械ケーブル配線.....	19

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo 販売店が 2019 S5 自転車をセットアップおよびカスタマイズする際に役立つように設計されています。このマニュアルは一般消費者向けではなく、正しい組み立てには指定された工具の使用が必要です。また、このマニュアルには、Cervélo から直接注文した小売店のみが入手できる独自仕様の部品も記載されています。

指定された部品を使用し、付属の組み立て説明書に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。このマニュアルは、この自転車の組み立てに必要な手順と、このマニュアルに記載されている変更を行うための手順の概要です。このマニュアルは、販売店がすべてのプロの自転車整備士に求められる最低限の知識とスキルレベルを有していることを前提としています。詳細は <https://www.probma.org/> をご覧ください。

フォークの取り付け.....	20
フォークトップバーの取り付け.....	21
システムの取り付け.....	22
スタッガ調整.....	23
システム固定ネジガイド.....	24
ハンドルバーの取り付け.....	25
ハンドルバーとステム - 電気ケーブル配線 -	26
ハンドルバーとステム - メカニカルケーブル配線.....	27
Di2バッテリーの取り付け.....	28
電気ケーブルの設置.....	29
機械ケーブルの取り付け.....	30
シートポストアセンブリ.....	31
シートポストの切断手順.....	30
フレーム保護の取り付け.....	33
タイヤクリアランス.....	34
迅速な車輪ホイールの取り付け.....	35

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、CervéloがS5に通常販売する方法とは異なるオプション調整を行うための手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。これらの部品は一般販売されておらず、Cervéloの販売店でのみご購入いただけます。

Cervélo では、すべての組み立ておよび調整手順を Cervélo 認定販売店が実行することを強くお勧めします。

別途購入可能なすべての部品は、このマニュアルに Cervélo 部品番号とともにすべて大文字で記載されており、完全なリストは 3 ページに記載されています。これらの部品は、Cervélo カスタマー ポータル (<https://dealers/>) にアクセスして入手できます。

サーベロ

注:シマノやSRAMなどの非独自コンポーネントはすべてお近くの販売店から入手可能です。

注意:このマニュアルは、Cervélo の一般ユーザー マニュアルを補完するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順 (この自転車に付属) を補足することを目的としています。



2019 S5 パーツリスト

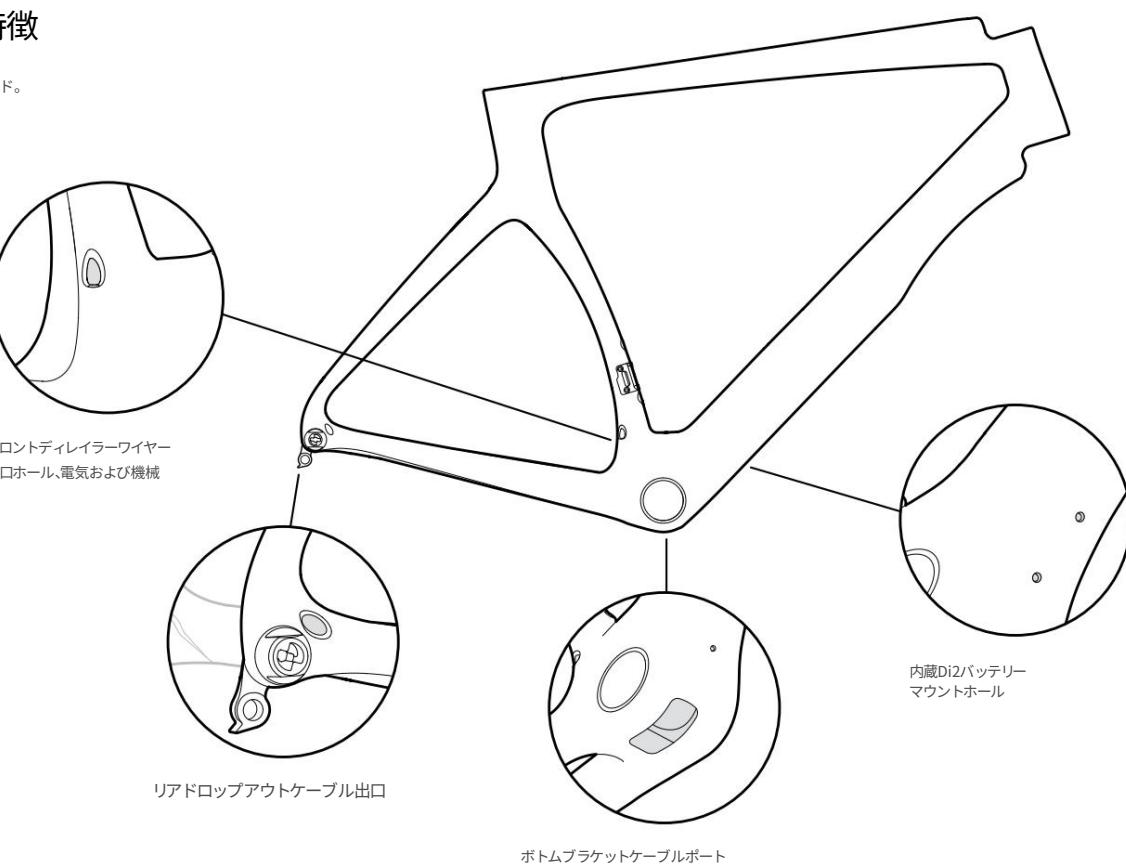
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
S5スタック調整 ディーラーキット	KP-0E0S5
従来型1 1/8インチ システムアダプター	FKA-FK60-1125
コンピューターマウント アダプターブレード	MT-AB08-CAP
M6X1.0X14 CS028 ボルト キット	BT-C028-14
M6X1.0X20 CS028 ボルト キット	BT-C028-20
M6X1.0X25 CS028 ボルト キット	BT-C028-25
M6X1.0X30 CS028 ボルト キット	BT-C028-30
M6X1.0X35 CS028 ボルト キット	BT-C028-35
M6X1.0X40 CS028 ボルト キット	BT-C028-40
M6X1.0X45 CS028 ボルト キット	BT-C028-45
アフターマーケットFK60フォーク 組み立てキット48	FKA-FK60-SM
アフターマーケットFK60フォーク 組み立てキット51	FKA-FK60-MD

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
アフターマーケットFK60フォーク 組み立てキット54-58	FKA-FK60-LG
CS028 ステム 80mm w/ プラグ	ST-CS028-80
CS028 ステム 90mm w/ プラグ	ST-CS028-90
CS028 ステム 100mm プラ グ付き	ST-CS028-100
CS028 ステム 110mm プラ グ付き	ST-CS028-110
CS028 ステム 120mm プラ グ付き	ST-CS028-120
CS028 ステム 130mm プラ グ付き	ST-CS028-130
AB08 マウントキット 0mm	HBP-AB08-ゼロ
AB08 マウントキット 2.5mm	HBP-AB08-2.5MM
AB08 マウントキット 2.5度	HBP-AB08-2.5度
AB08 マウントキット 5 度	HBP-AB08-5DEG
AB08 カーボン ハンドルバー 380mm	HB-AB08-38

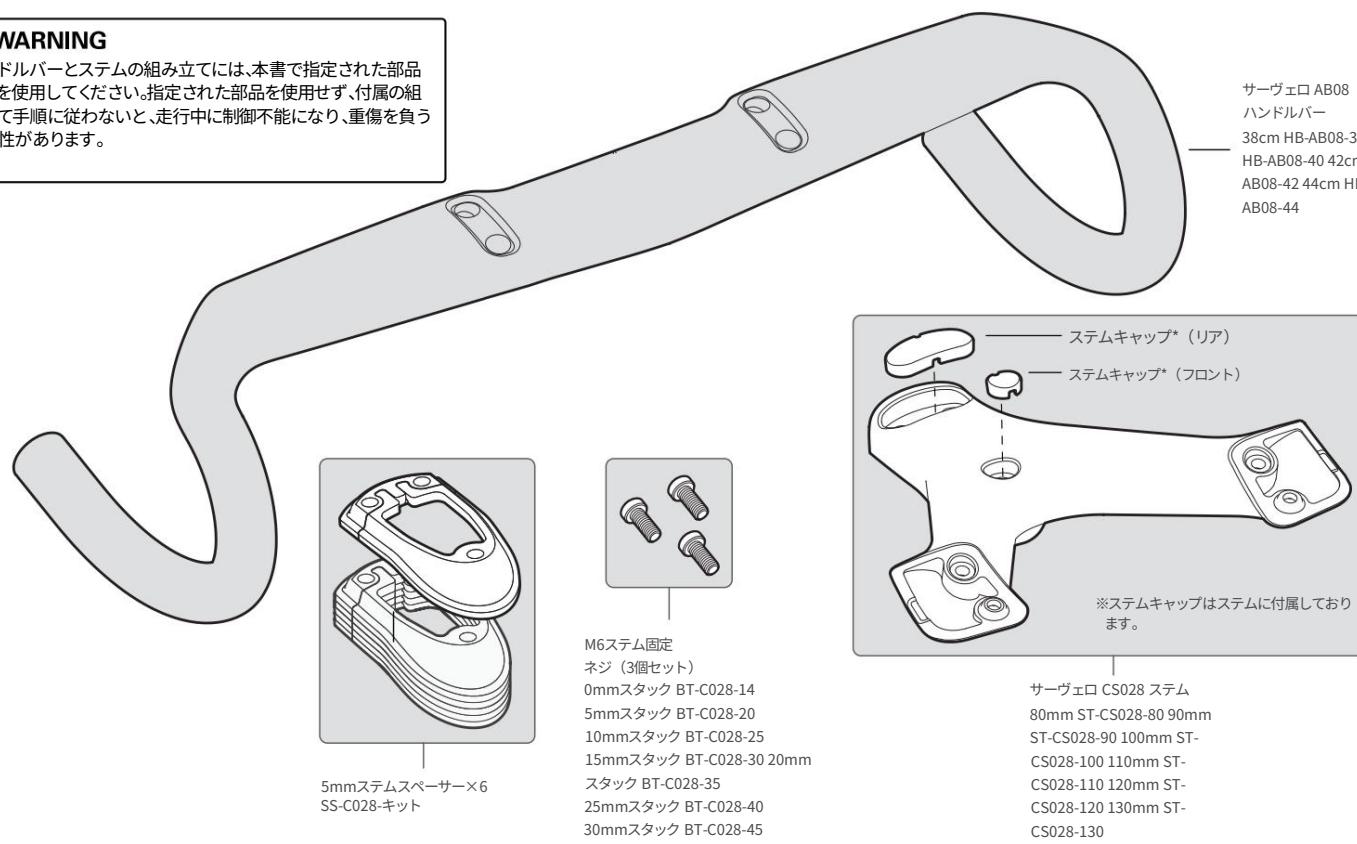
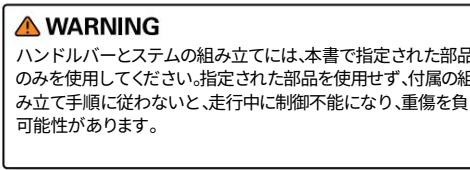
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
AB08 カーボン ハンドルバー 400mm	HB-AB08-40
AB08 カーボン ハンドルバー 420mm	HB-AB08-42
AB08 カーボン ハンドルバー 440mm	HB-AB08-44
SP20 カーボンポスト 0mmオフセット ヘッド付き	SP-SP20-ゼロ
SP20 カーボンポスト 25mm オフセット ヘッド付き	SP-SP20-25MM
シートポストクランプ アセンブリ 0E0 S5	SPC-0E0S5
内蔵バッテリーマウント アセンブリ 0E0	MT-BINT
BBケーブルガイド/カバー 0E0	BBG-0E0
チェーンステープロテクター 0E0 Sシリーズ	プロCSS
ディスクブレーキホース ガイド	CBG-DBH
ST28 スペーサーキット 30mm	SS-C028-キット
フロントデアマウント 0E0 S5 リベット付き	FDM-0E0S5

フレームの特徴

Cervélo S5 フレームのガイド。

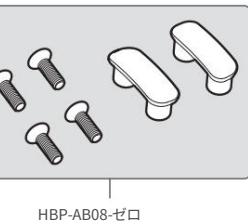
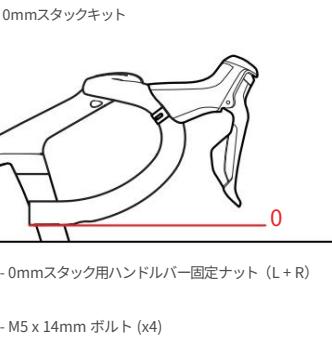
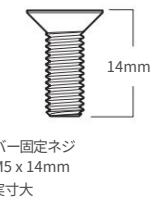
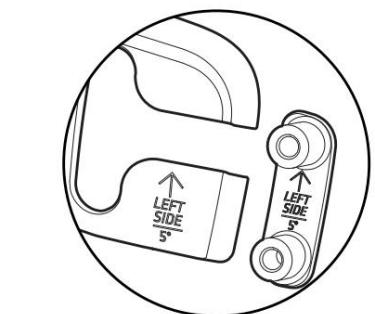


ハンドルバー&ステムコンポーネント



ハンドルバーコンポーネント - スタック

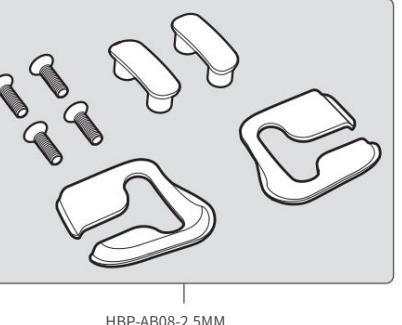
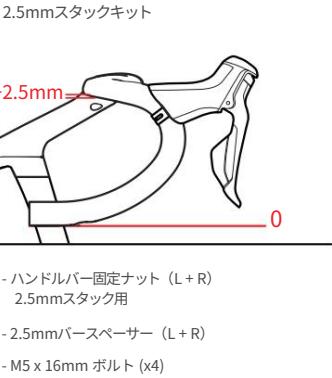
AB08 ハンドルバー スタックは、専用のスタック スペーサー キットまたはピッチ調整ウェッジ キットを使用することで、2.5 mm 増加したり、2.5 度または 5 度ずつ回転したりできます。



WARNING

ハンドルバーの取り付け部品はすべて、正しく取り付けられるよう明確にラベルが貼られています。異なる部品を混用すると保証が無効になり、怪我につながる可能性があります。

注意: スタックまたはピッチ調整ウェッジ キットの取り付け手順については、25 ページを参照してください。



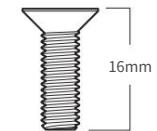
ハンドルバーコンポーネント - ピッチ調整



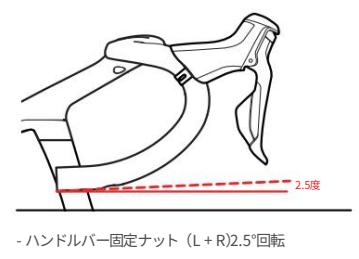
WARNING

ハンドルバースタックスペーサーまたはピッチ調整ウェッジキットは、部品の交換や組み合わせを行わずに必ずコンプリートキットを使用してください。指定された部品を使用しなかった場合、または付属の組み立て説明書に従わなかった場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。

バー固定ネジ
M5 x 16mm
実寸大



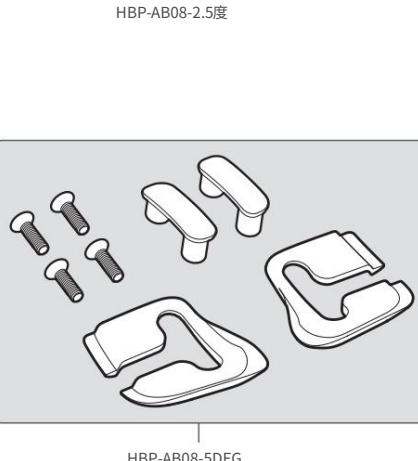
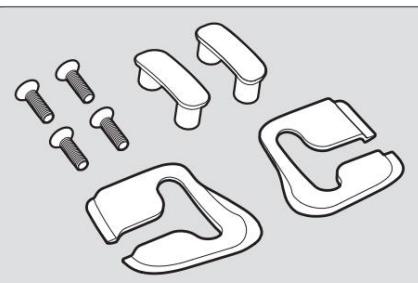
2.5ピッチ調整キット



- ハンドルバー固定ナット (L + R) 2.5°回転
- 2.5ピッチ調整ウェッジ (L + R)
- M5 x 16mm ボルト (x4)

5ピッチ調整キット

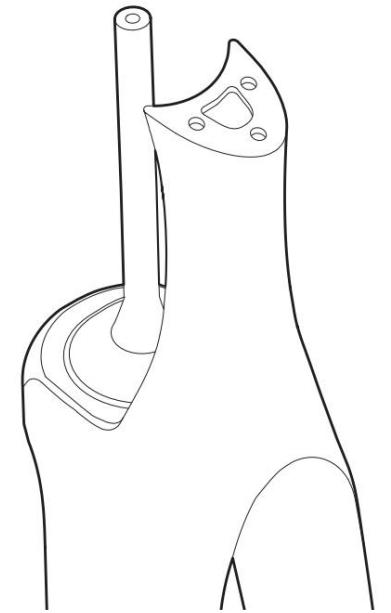
- ハンドルバー固定ナット (L + R)
5度回転の場合
- 5ピッチ調整ウェッジ (L + R)
- M5 x 16mm ボルト (x4)



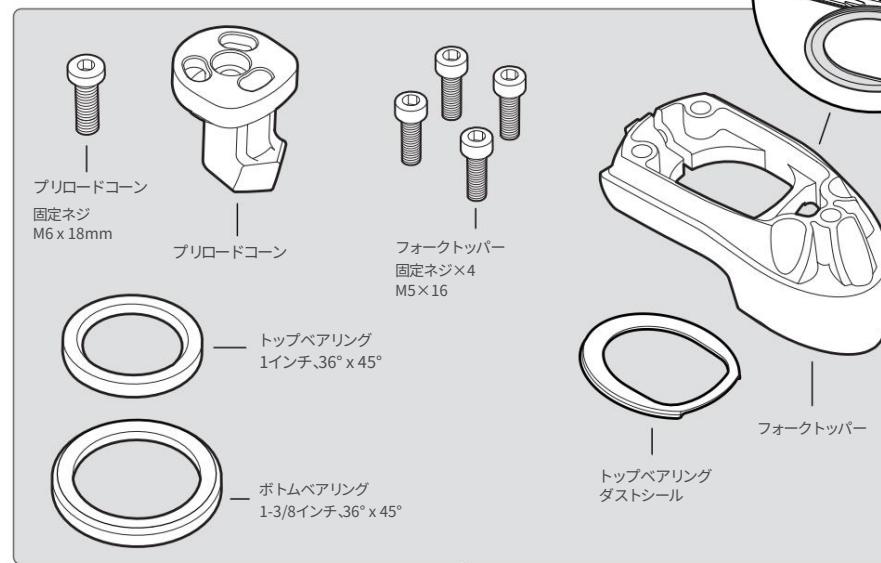
フォーク&ヘッドセットコンポーネント

WARNING

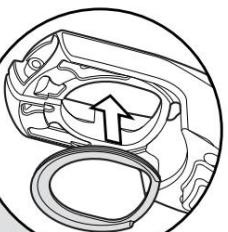
Cervéloのフレームとフォークは互いに連動するよう設計されています。別のフォークを取り付けようとしないでください。



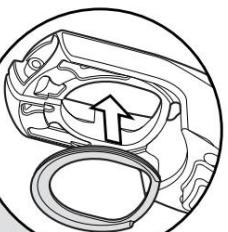
注意: S5 ヘッドセット アセンブリには圧縮リングは必要ありません。



FK60フォーク
組み立てキット
FKA-FK60-SM
FKA-FK60-MD
FKA-FK60-LG

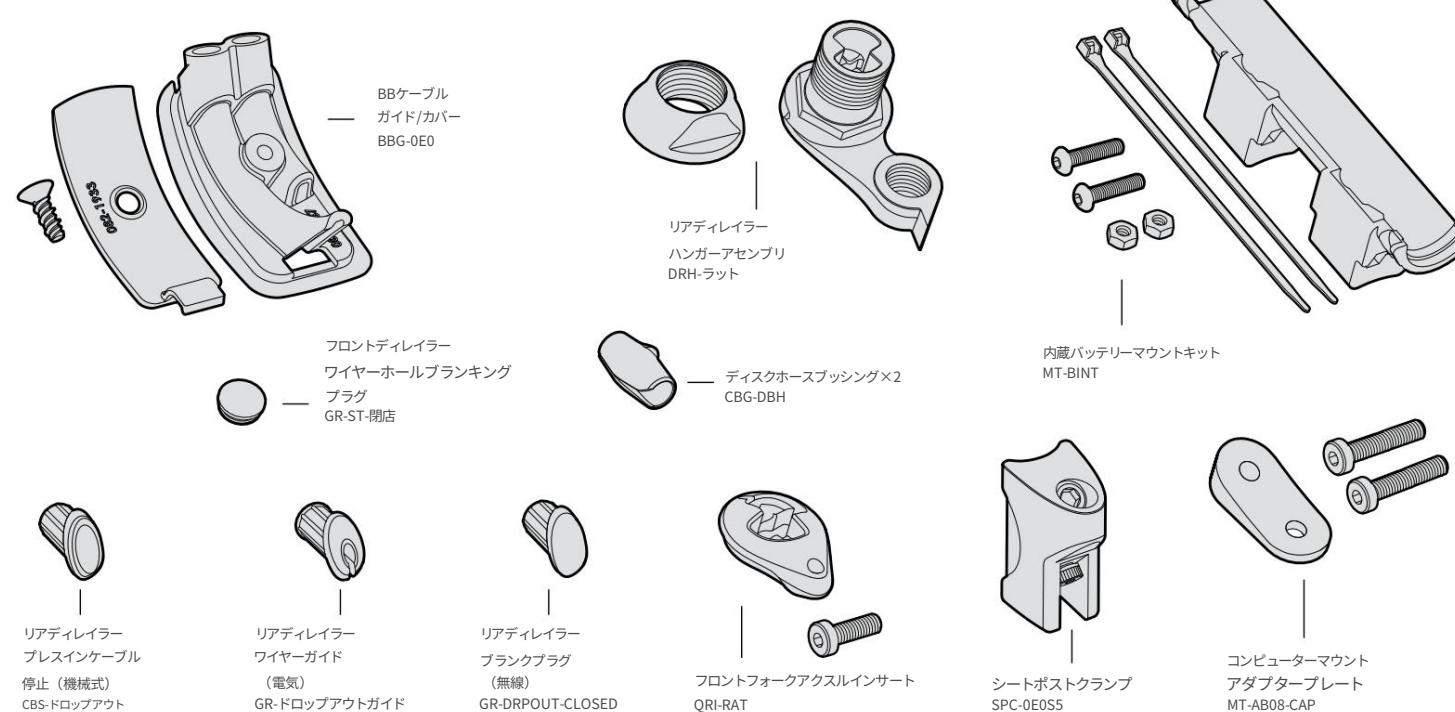


取り付け前に、トップペアリングダストシールをフォークトップバーに取り付けます。



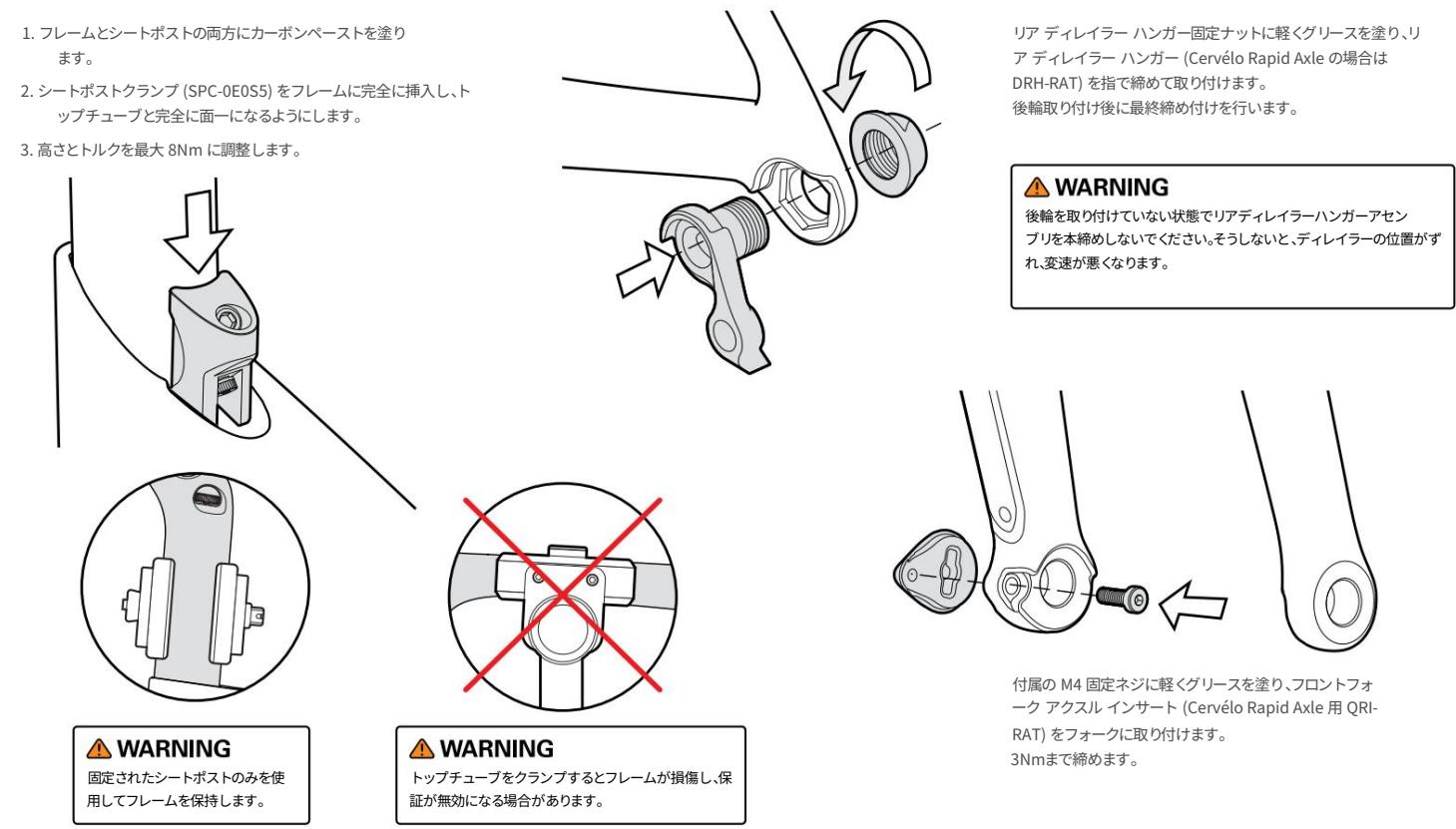
小さな部品

S5 フレームは、電子制御/機械制御/油圧制御に対応するように設計されており、方法やブランドに関係なく、すべてのシフトシステムをシームレスに統合できるように設計されています。そのためには、以下に示すバージが必要です。自転車に取り付けられているグループセットによっては、すべてのパーツが使用されるわけではありません。



フレームの準備

1. フレームとシートポストの両方にカーボンペーストを塗ります。
2. シートポストクランプ (SPC-0E0S5) をフレームに完全に挿入し、トップチューブと完全に面一になるようにします。
3. 高さとトルクを最大 8Nm に調整します。



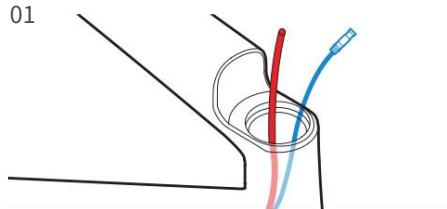
リアディレイラーハンガーナットに軽くグリースを塗り、アディレイラーハンガー (Cervélo Rapid Axle の場合は DRH-RAT) を指で締めて取り付けます。後輪取り付け後に最終締め付けを行います。

WARNING
後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしないと、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなります。

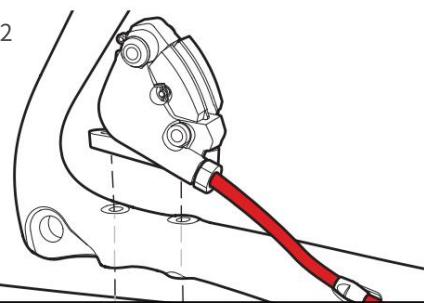
付属の M4 固定ネジに軽くグリースを塗り、フロントフォークアクスル インサート (Cervélo Rapid Axle 用 QR-RAT) をフォークに取り付けます。
3Nmまで締めます。

S5アセンブリの概要

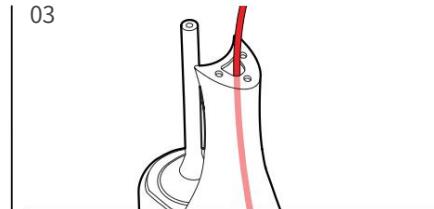
注:より詳細な組み立て手順については、次のページを参照してください。



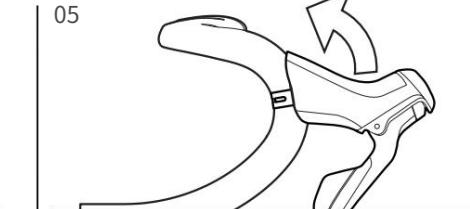
フレームの準備として、リアブレーキホースとディレイラーコントロールをヘッドチューブ上面からフレーム外へ取り付けます。トリミングは行わないでください。



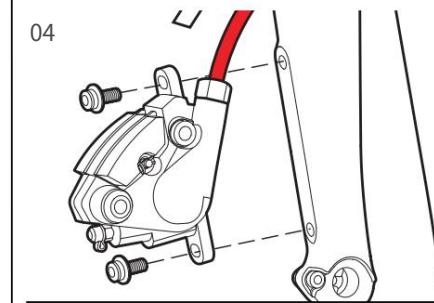
ブレーキメーカーの指示に従ってリアブレーキキャリパーを取り付けます。ディレイラーコントロールワイヤーはこの時点で接続することも、ボトム プラケット ケーブルポートを通して露出したままにすることもできます。



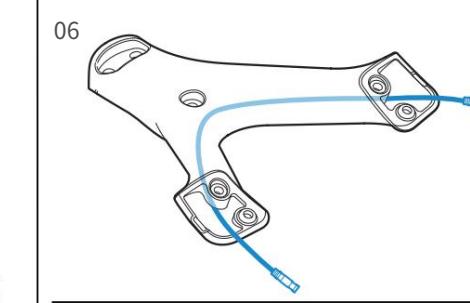
ブレーキ ホースを下肢のホース通路から取り付け、フォークの先端の上部から出すことでフォークを準備します。



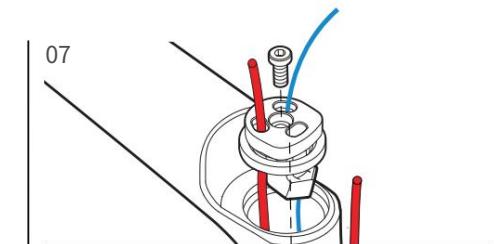
シフトレバーを取り付けてハンドルを準備します。
ブレーキレバー。



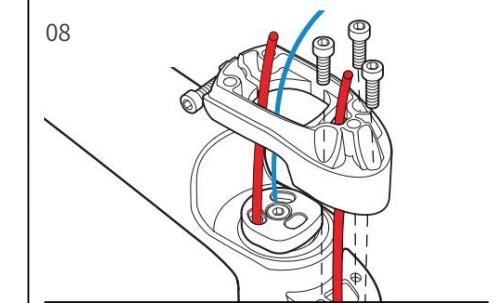
ブレーキメーカーの指示に従ってフロントブレーキキャリパーを取り付けます。



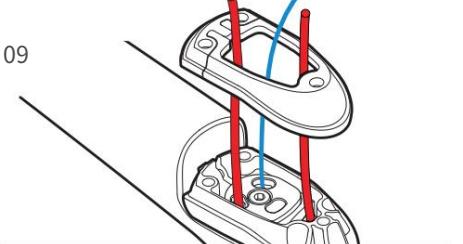
D12 ビルドの場合、750mm の長さの E ワイヤーを両方のブレードに通してステムを準備し、コネクタの端が各ポートのハンドルバーの端に露出するようにします。



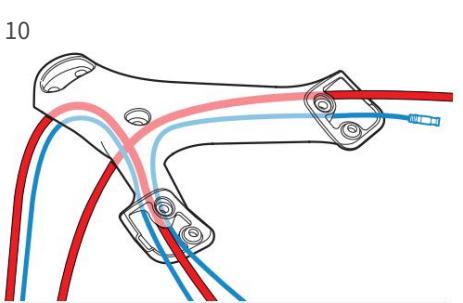
フレームのペアリングカップにグリースを塗り、ペアリングを取り付けます。ブレーキホースとディレイラーのコントロールレバーをブリードコーンに通します。フォークを取り付け、遊びがなくスムーズに回転するまでブリードコーンを締めます。20ページを参照してください。



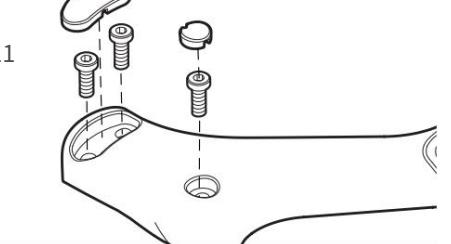
ホースとディレイラーコントロールをフォークトッパーに通します。付属のM5 x 16mmネジを使用してフォークを固定します。21ページをご参考ください。



ケーブルとホースを必要な量の 5mm ステム スペーサーに通します。

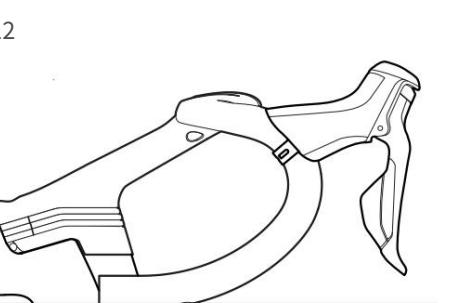


ブレーキホースが適切なブレードを通るようにステムを取り付けます。Eワイヤーは右側のブレードを通って上昇します。機械式の場合、リアハウジングは右側、フロントハウジングは左側にあります。



適切な長さのボルトを使用し、ロックタイト242を塗布してステムとステムスペーサーをフォークトッパーに固定してください。

22 ~ 24ページをご参照ください。



ハンドルバーを取り付け、コントロールを接続します。

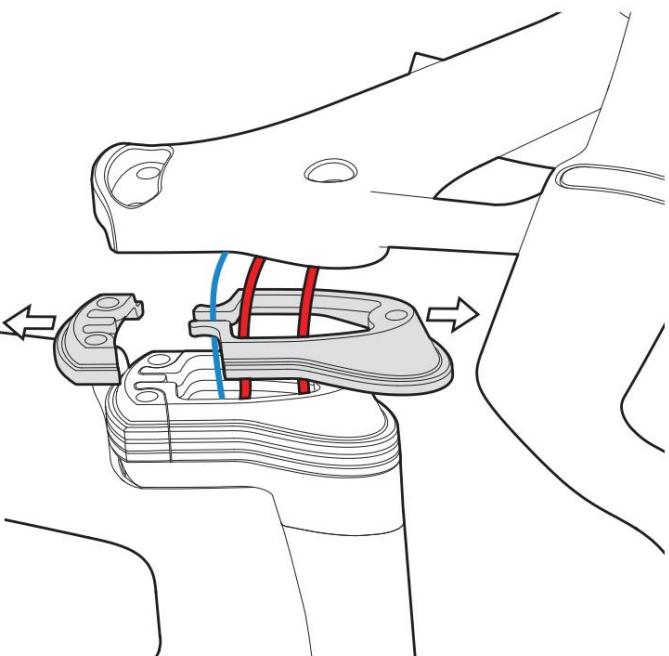
構築する前に

- 2ピースの5mm ステムスペーサーを使用すると、バイクのケーブルを再配線せずに追加/削除が可能になりますが、最初の組み立て時に使用するケーブルの長さによって、後でどの程度調整できるかが決まります。
- 最初の組み立て後は、ステムスペーサーを取り外し（下に移動）、必要に応じてブレーキレバーの油圧ブレーキホースをトリミングする方が簡単です。
- 最初の組み立て後にスペーサーを追加すると（高くする）、必要な長さを得るためにケーブルの交換が必要になる場合があります。
- 可能な限り、S5 の最終的なケーブル接続を行う前に、正しいフィットを確立することが最善です。

ここでは、再インストールに役立つと思われる、これまでに学んだいくつかのヒントを紹介します。

スペーサーなしでステムを再取り付けする前に：

- ハンドルバーの固定ネジを数回転緩めます。
- ステムの再取り付け中にリアブレーキホースが挟まれないようにするには、リアブレーキキャリパーをフレームから取り外し、キャリパーを自転車の後方に向かってゆっくりと引いて、余分なホースを引き出します。
- ディレイラーハウジングが折れ曲がらないように注意しながら（機械式の場合）、余分なホースをフレームに通してステムを慎重に取り付け、ステム固定ボルトを 7Nm で締めます。
- 余分なハウジングをフレームに押し込んで、リアブレーキキャリパーを再度取り付けます。
- ホースとハウジングがバーの適切なスポットに配置されていることを確認してください。
ハンドル固定ボルトを 5Nm に締めます。

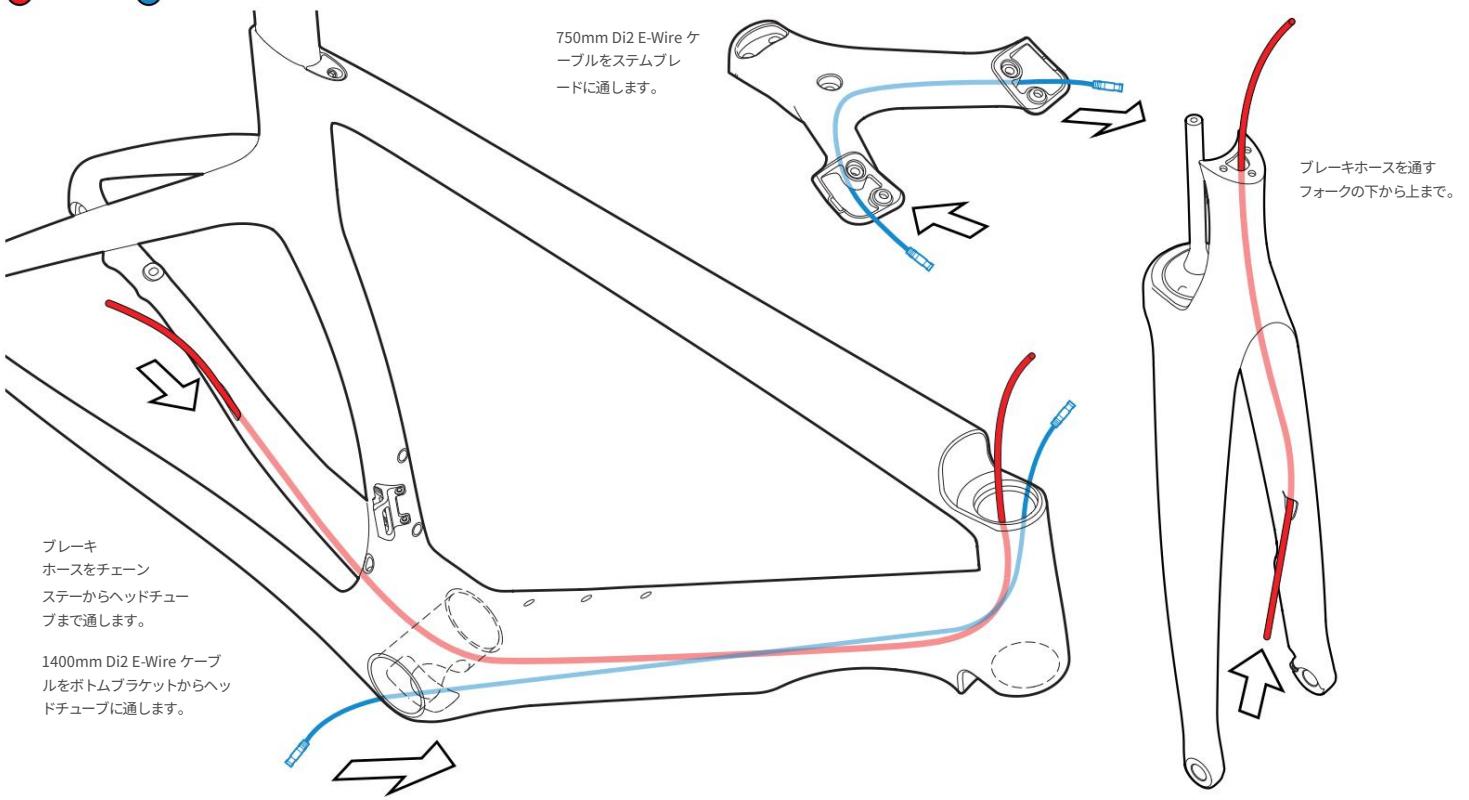


WARNING

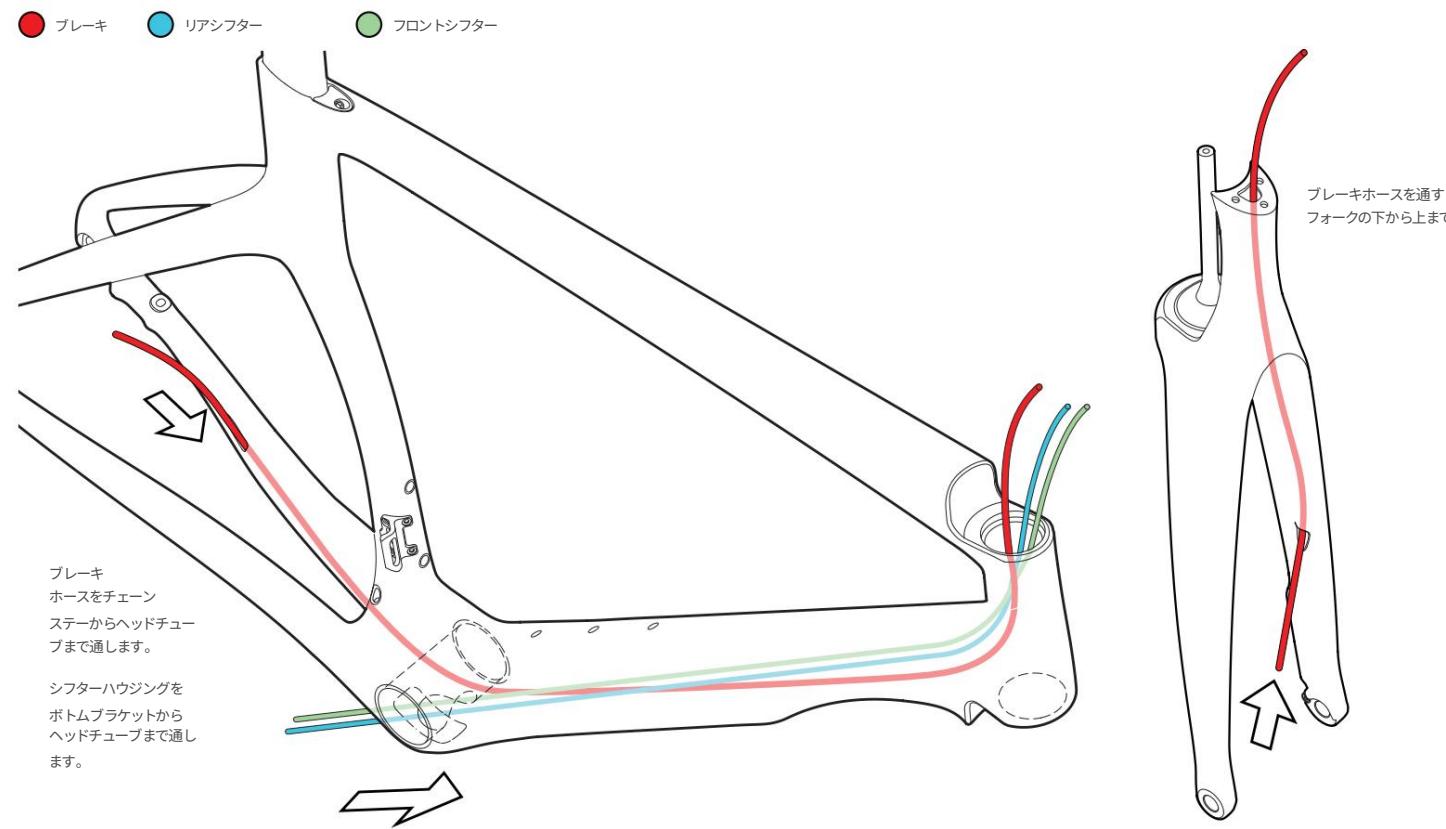
スムーズにフォークトッパー/ヘッドチューブからフレームに差し込めない油圧ブレーキホースを無理やり押し込まないでください。ケーブルが折れ曲がったり、ひび割れたりして液漏れが発生し、ブレーキ機能が失われ、重傷を負う可能性があります。

電気ケーブルの準備

● ブレーキ ● Eワイヤー



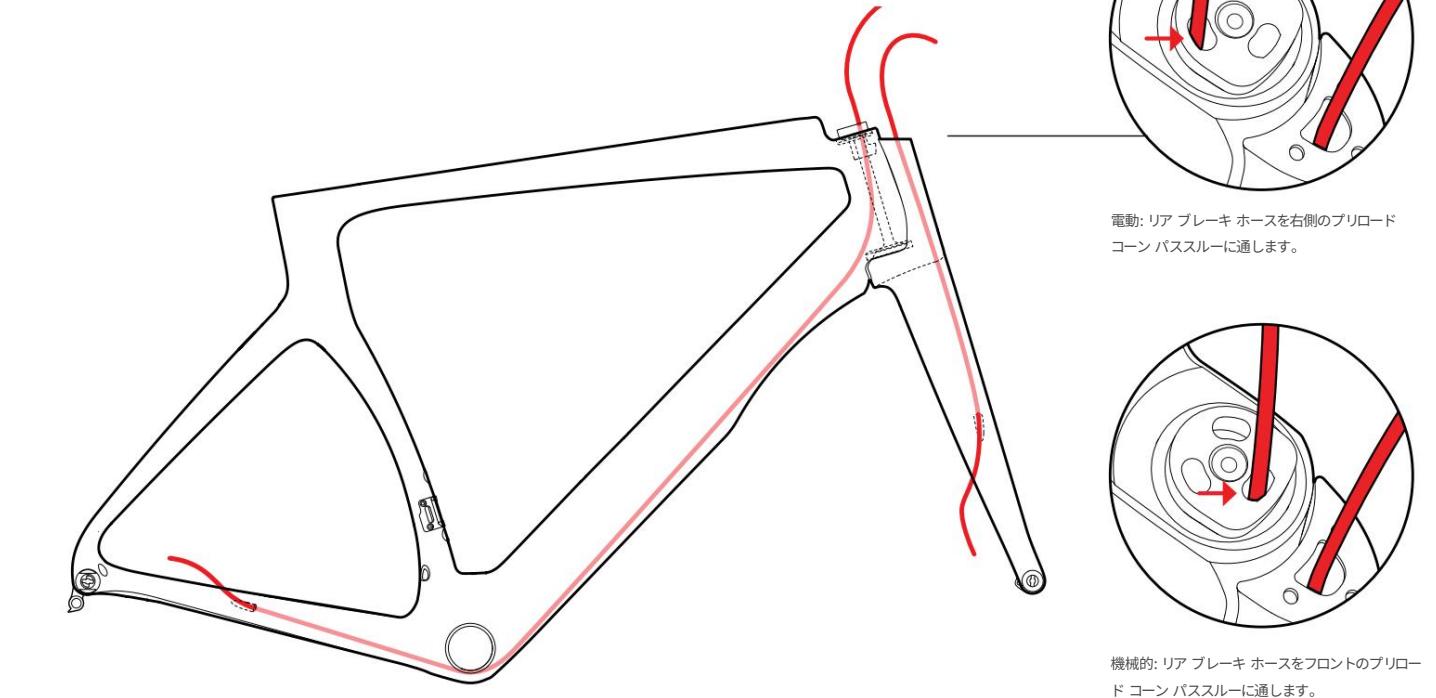
機械ケーブルの準備



ブレーキハウジングのルーティング

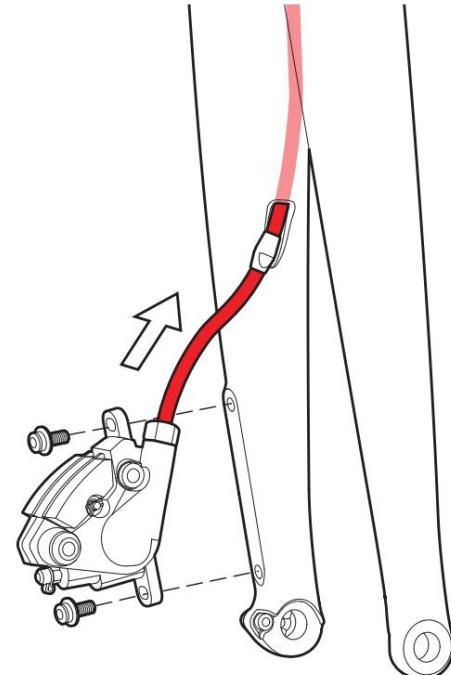
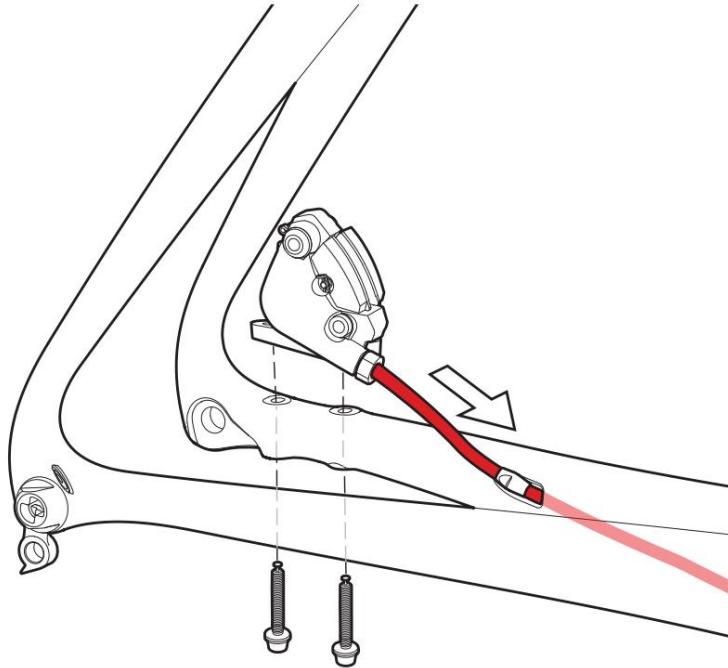
油圧ブレーキホースまたはブレーキケーブルハウジングを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。油圧式ディスクブレーキおよび機械式ディスクブレーキのいずれの場合も、部品メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

詳細については、または Web サイトをご覧ください。



ブレーキハウジングのルーティング

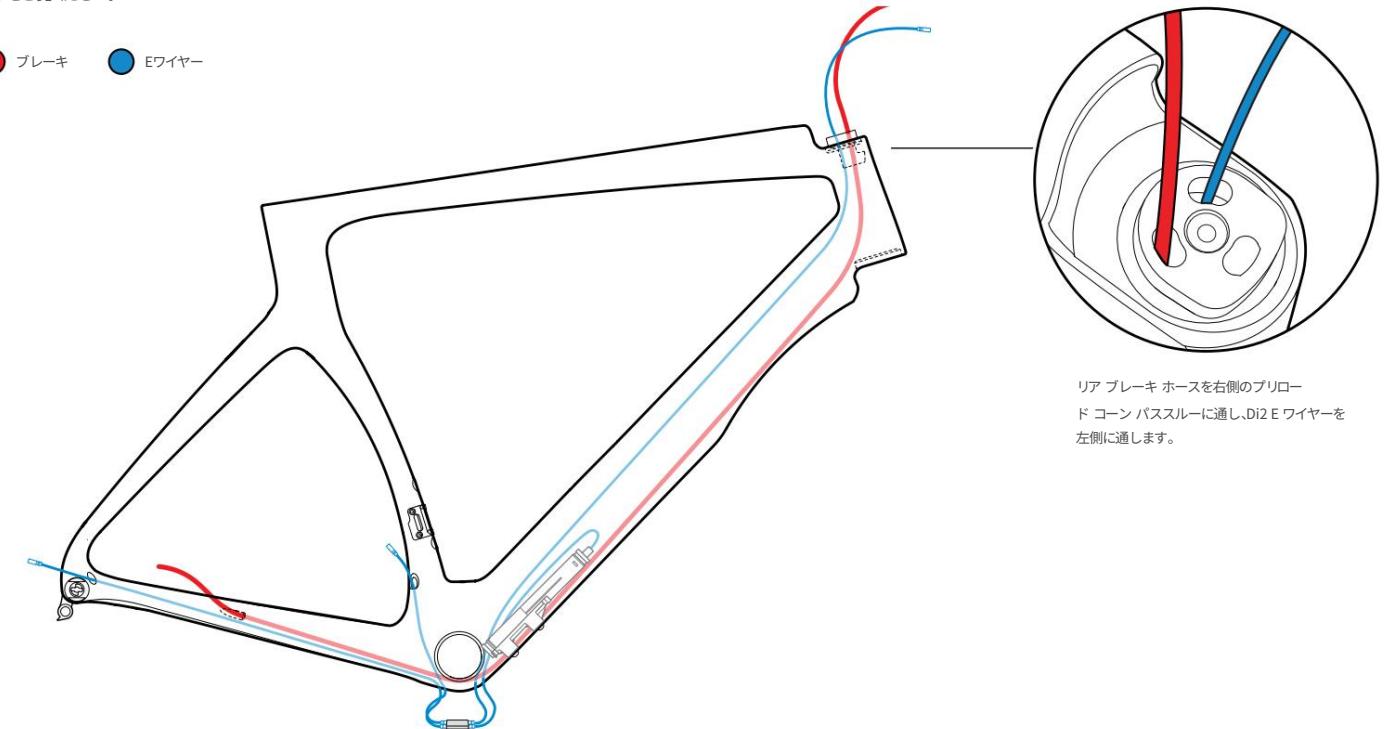
ディスクホースブッシング（CBG-DBH）を使用して、油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。キャリパーはメーカーの指示に従って取り付け、調整してください。



電気ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ ● Eワイヤー

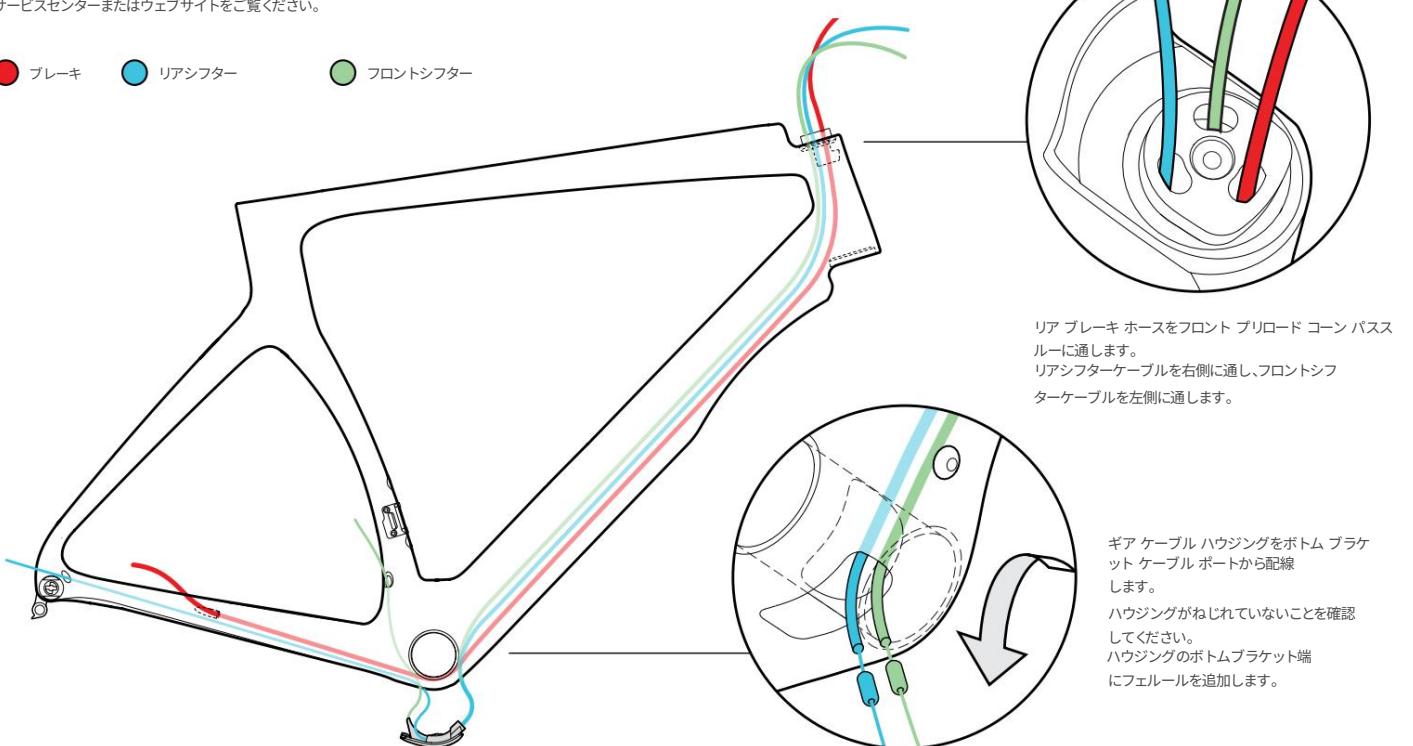


機械ケーブル配線

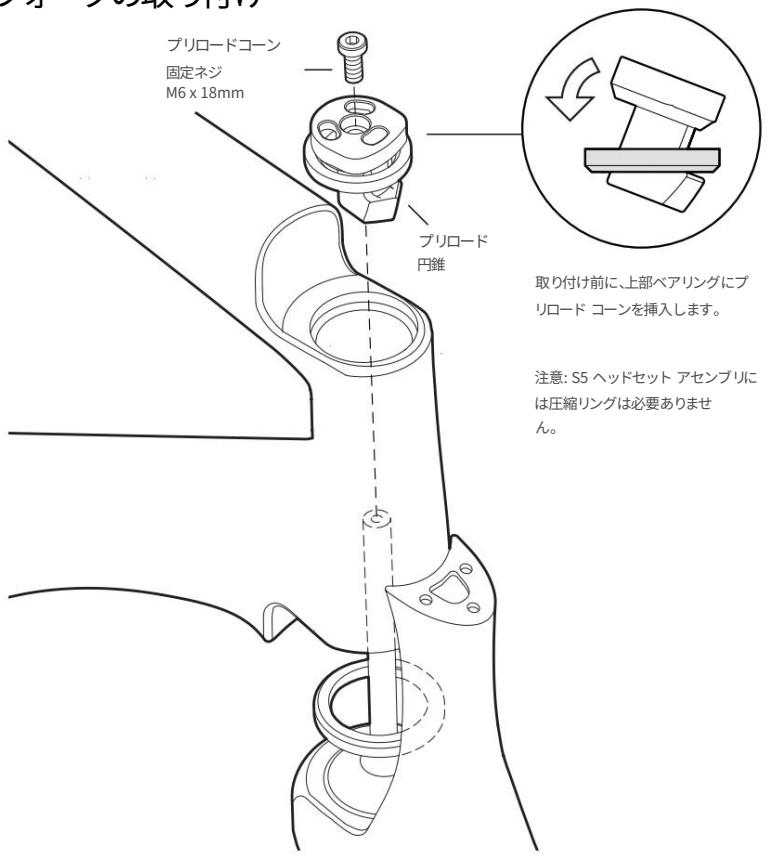
ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



フォークの取り付け



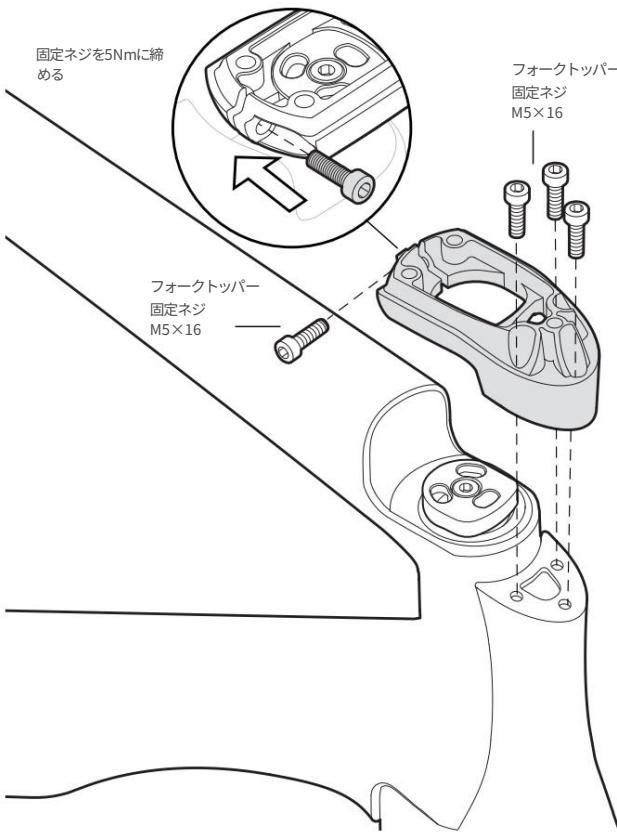
注意: S5 ヘッドセット アセンブリには圧縮リングは必要ありません。

注意: 完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリングシステムに慣れておくことをお勧めします。

1. ヘッドセットのコンポーネントをチェックして、ペアリング部品の取り付けや位置合わせに影響を与える可能性のある、表面に鋭利なエッジや粗いエッジが見られる場合があります。粗いエッジが検出された場合は、作業を進める前に部品を修理（鋭利なエッジを除去）または交換してください。
2. 上部ペアリングをプリロードコーンに取り付け、軽くグリースを塗った上部ペアリングポケットにペアリングを押し込みます。
3. 下部ペアリングを軽くグリースを塗った下部ペアリングに押し込みます。
4. フォークテンションロッドの上部10mmに軽くグリースを塗ります。
5. テンションロッドをペアリングに通してフォークを挿入し、下部ペアリングが下部フォークペアリング面にぴったり合うようにし、テンションロッドがプリロードコーン内に配置されるようにします。
6. M6プリロードスクリューを取り付け、締め付けてシステムの遊びをなくします。最終調整はフォークトップバーの取り付け後に進行します。

注: この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。

フォークトッパーの取り付け

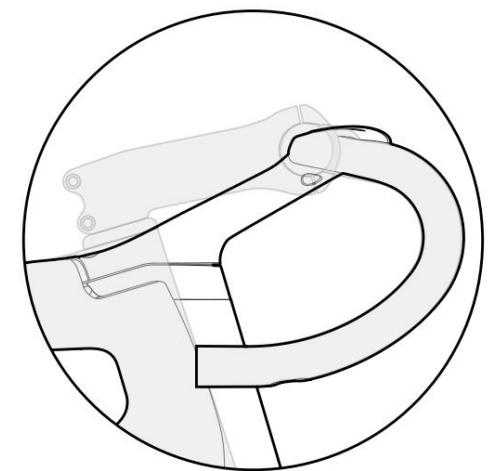


注意:完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試
しに組み立て、ステアリングシステムに慣れておくことをお勧めします。

ステムの取り付け



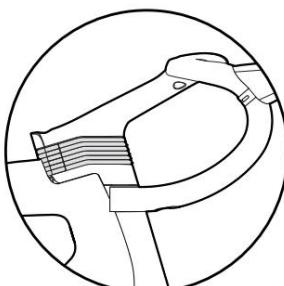
適切なステム固定ねじを使用して、ステムをフォークトッパーに
取り付けます。固定ねじの長さは、選択したスペーサー構成と正確に
一致している必要があります。ステム固定ねじにLoctite 242を塗布し、
7~8Nmのトルクで締め付けてください。



S5ステムとハンドルバーのベース位置は、S5と
5mmトップキャップを備えた以前のエディションの
S5と一致します。

注:この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホー
スと制御ケーブルが付属します。

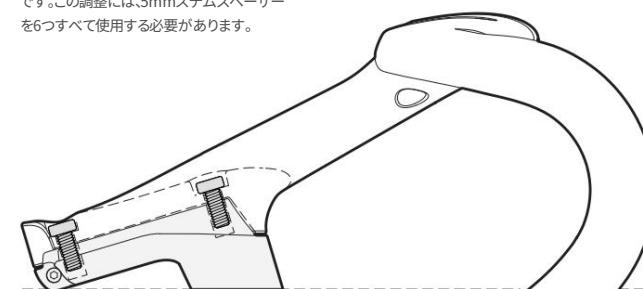
スタック調整



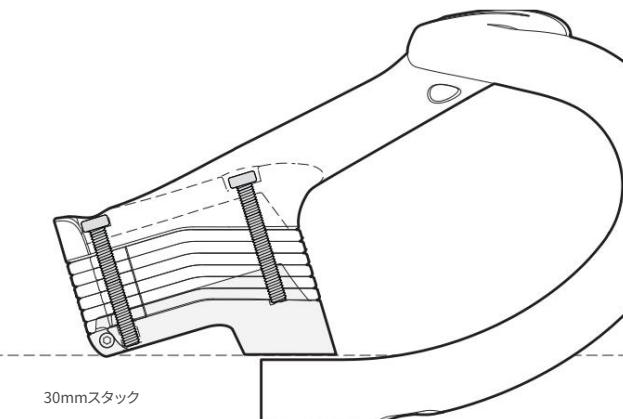
WARNING

ライダーの安全を確保するため、付属の固定ネジを使用し、指定されたスペーサーのサイズと構成に適合させることが重要です。適合しない場合、ステアリング機構の重大な故障やライダーの負傷につながる可能性があります。

注：ステムstackの最大調整幅は30mmです。この調整には、5mmステムスペーサーを6つすべて使用する必要があります。



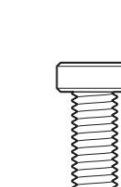
0mmスタック
ステムスペーサーなし



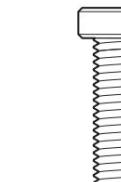
30mmスタック
ステムスペーサー×6

ステム固定ネジガイド

M6ステム固定ネジ
実寸大



M6 x 14mm
スペーサーなし
BT-C028-14



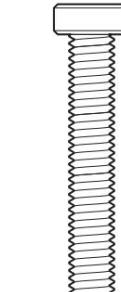
M6 x 20mm
5mm（スペーサー1個）
BT-C028-20



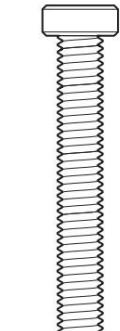
M6 x 25mm
10mm（スペーサー2個）
BT-C028-25



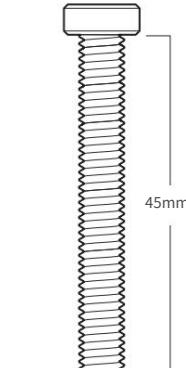
M6 x 30mm
15mm（スペーサー3個）
BT-C028-30



M6 x 35mm
20mm（スペーサー4個）
BT-C028-35



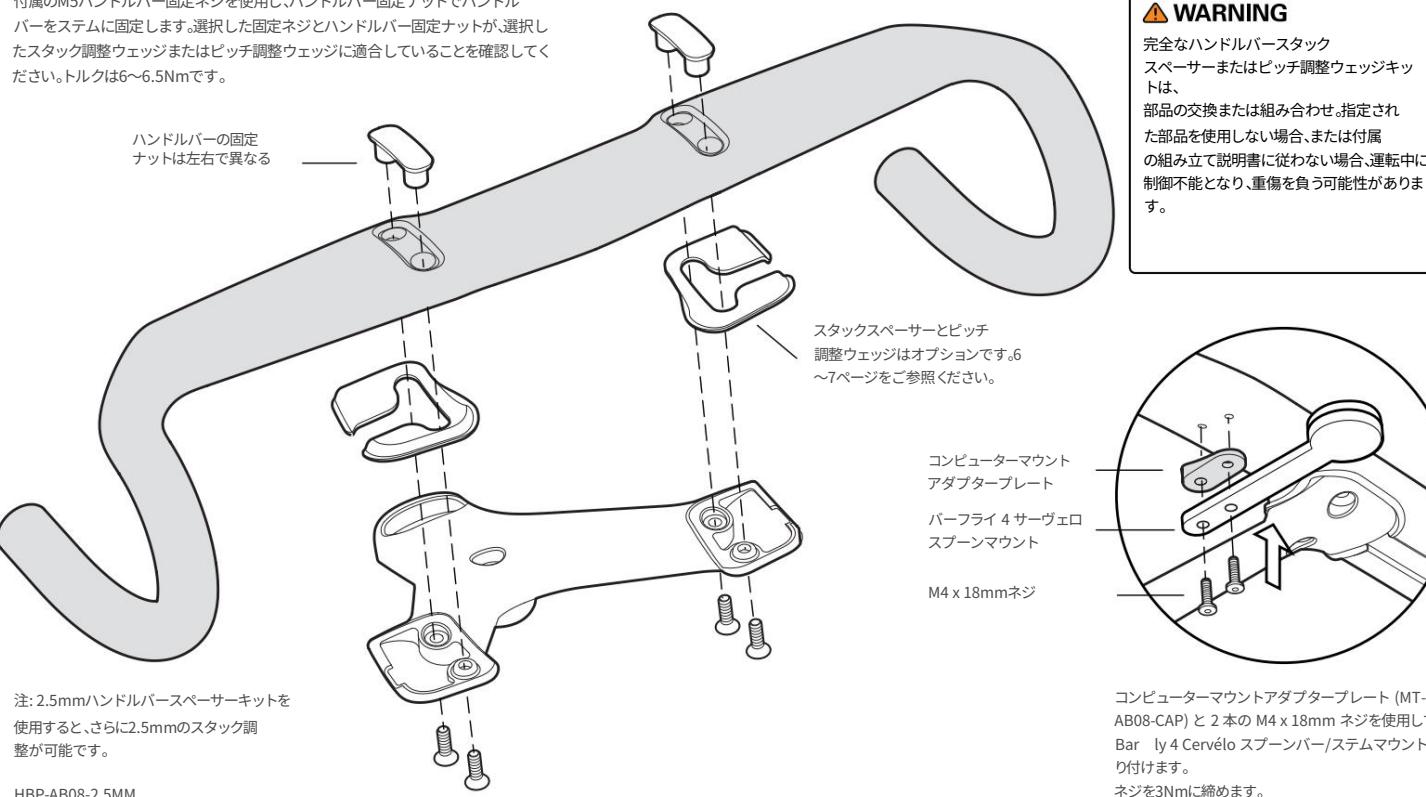
M6 x 40mm
25mm（スペーサー5個）
BT-C028-40



M6 x 45mm
30mm（スペーサー6個）
BT-C028-45

ハンドルバーの取り付け

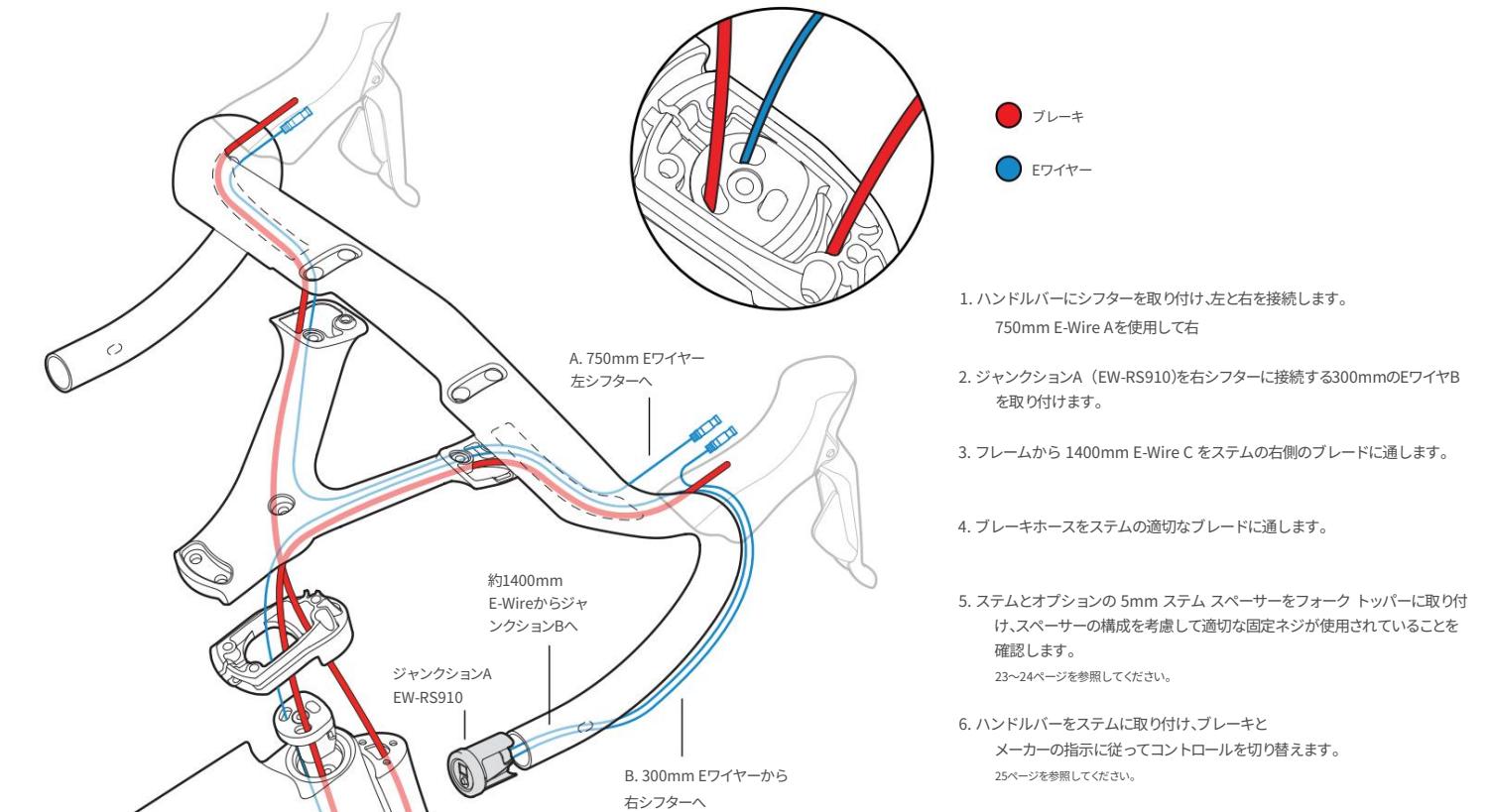
付属のM5ハンドルバー固定ネジを使用し、ハンドルバー固定ナットでハンドルバーをシステムに固定します。選択した固定ネジとハンドルバー固定ナットが、選択したスタック調整ウェッジまたはピッチ調整ウェッジに適合していることを確認してください。トルクは6~6.5Nmです。



HBP-AB08-2.5MM

25

ハンドルバー&ステム - 電気ケーブル配線

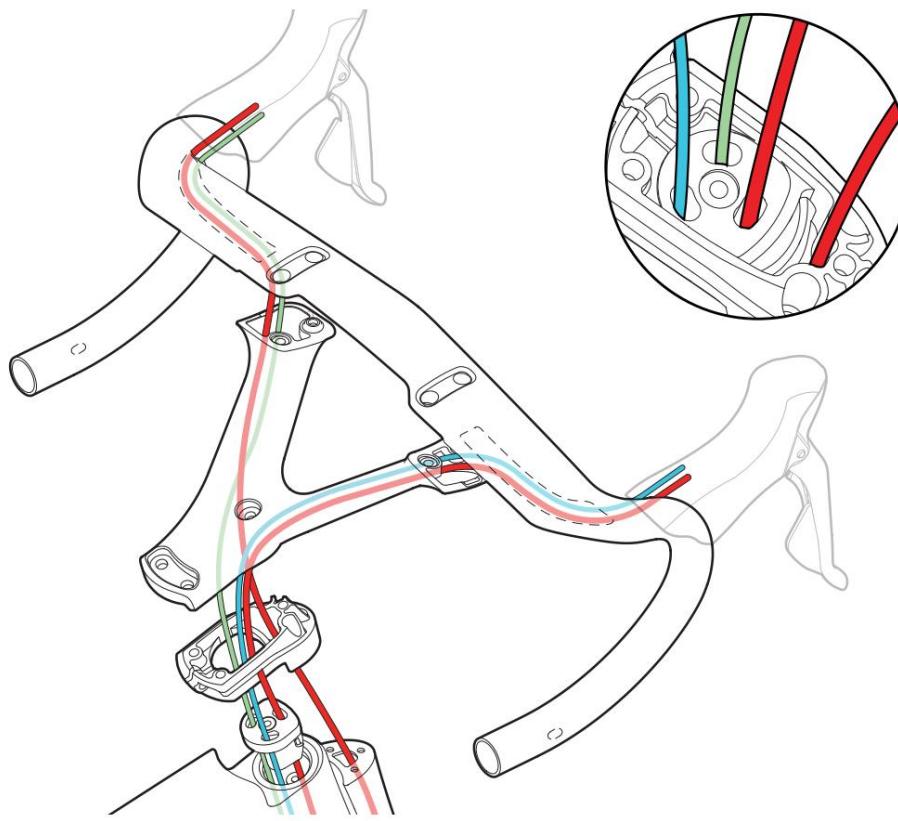


- ブレーキ
- Eワイヤー

1. ハンドルバーにシフターを取り付け、左と右を接続します。
750mm E-wire Aを使用して右
2. ジャンクションA (EW-RS910)を右シフターに接続する300mmのE-wire Bを取り付けます。
3. フレームから 1400mm E-wire C をシステムの右側のブレードに通します。
4. ブレーキホースをシステムの適切なブレードに通します。
5. システムとオプションの 5mm ステムスペーサーをフォーク トップバーに取り付け、スペーザーの構成を考慮して適切な固定ネジが使用されていることを確認します。
23~24ページを参照してください。
6. ハンドルバーを取り付け、ブレーキとメーカーの指示に従ってコントロールを切り替えます。
25ページを参照してください。

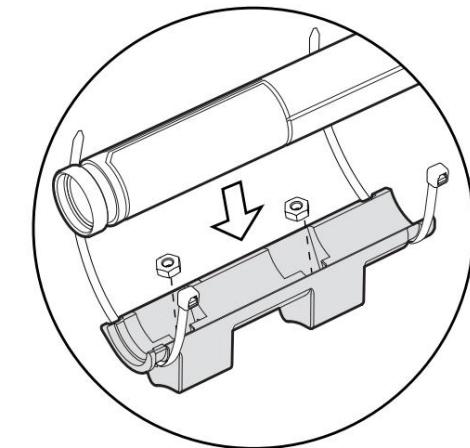
26

ハンドルバー&システム - メカニカルケーブルルーティング

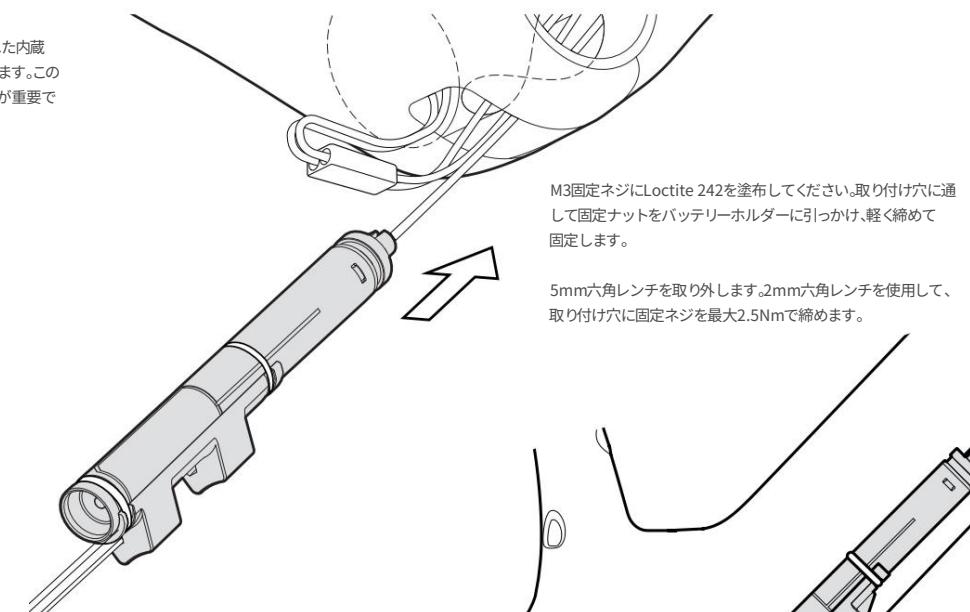


DI2バッテリーの取り付け

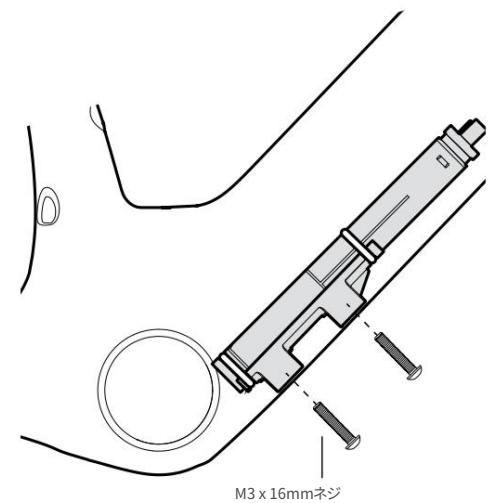
Shimano Di2システムのバッテリーは、このフレームに合わせて設計された内蔵バッテリーマウント (MT-BINT) を使用してダウンチューブ内に取り付けます。この場所は密閉されているため、最終取り付け前にシステムをテストすることが重要です。



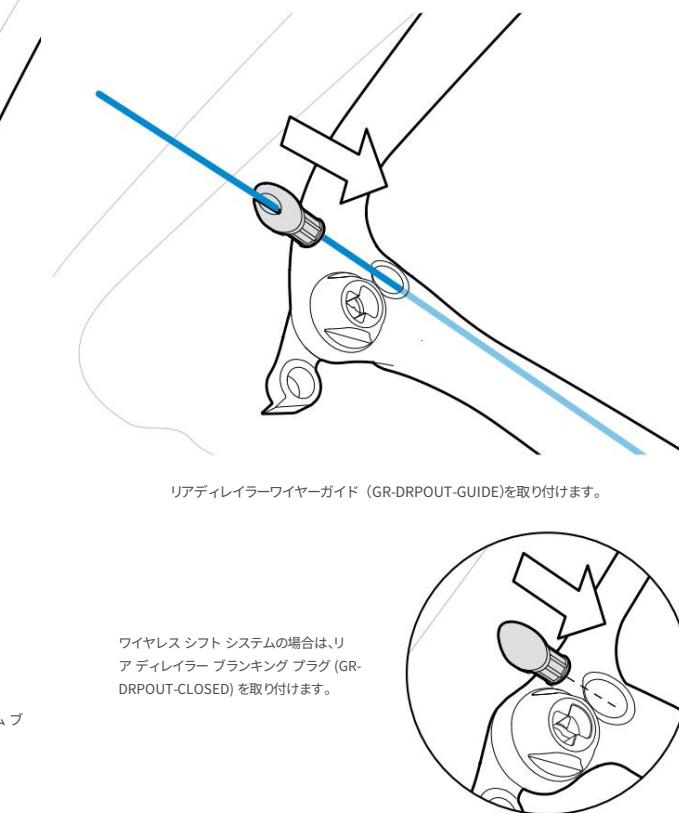
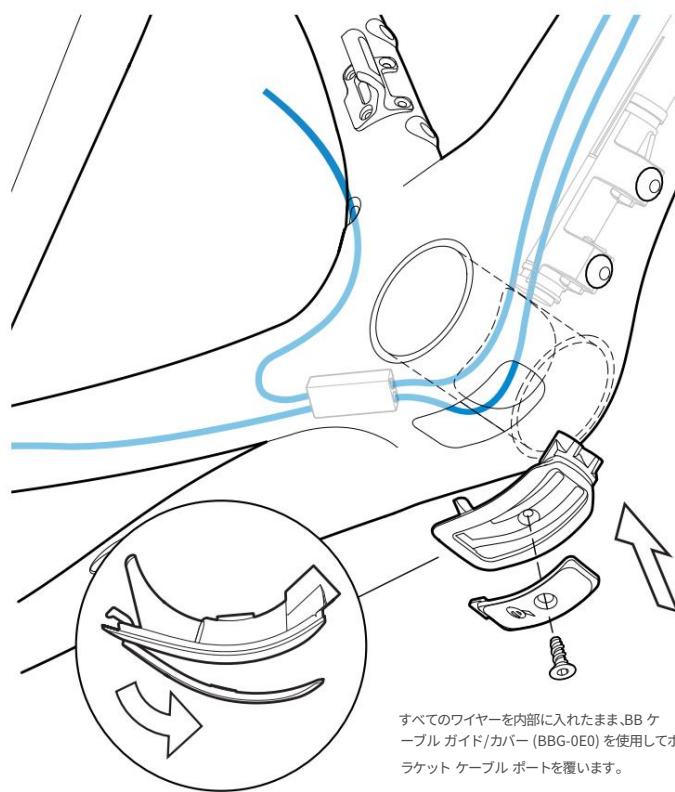
2つのM3固定ナットを上部の穴に差し込み、ホルダーに差し込みます。結束バンド2本を使ってバッテリーをマウントに固定し、取り付けます。



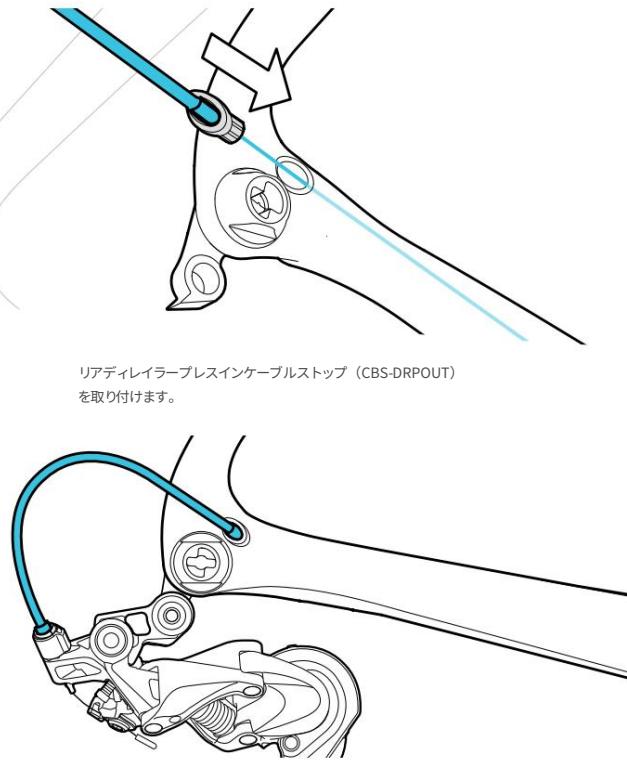
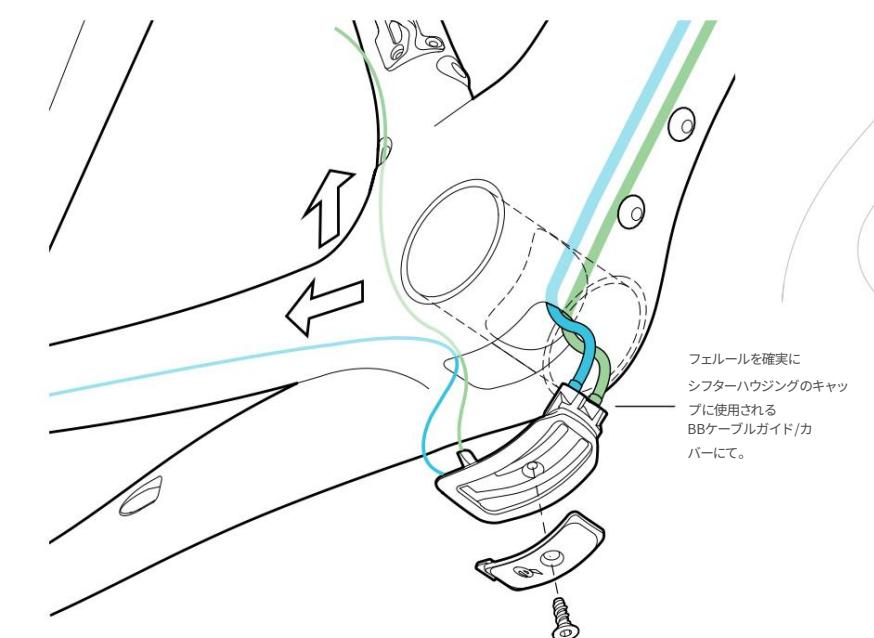
バッテリーとホルダーアセンブリをボトム ブラケットシェルの開口部に通して、ダウンチューブ内で固定ナットが取り付け穴の上にくるように配置します。



電気ケーブルの設置



機械ケーブルの取り付け



製造元の指示に従って、リア ディレイラーをリア ディレイラー ハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

シートポストアセンブリ

1. 45mmボタンヘッドキャップスクリューの頭の下のねじ山にLoctite 242を塗布します。45mmボタンヘッドキャップスクリューにクロスバーを取り付け、3Nmのトルクで締め付けます。

2. 固定ネジの両方にLoctite 242が塗布されていることを確認します。

3. シートポストの切り欠きに湾曲したワッシャーと調整ダイヤルを取り付けます。

4. クロスバーを取り付けた状態でボタンヘッドキャップスクリューを取り付け、ねじ山がかみ合いでダイヤルを回します。

5. 球面ワッシャーを35mmの球面キャップスクリューなので、凹面がスクリューの凸面と噛み合います。

6. クロスバーを取り付けます。

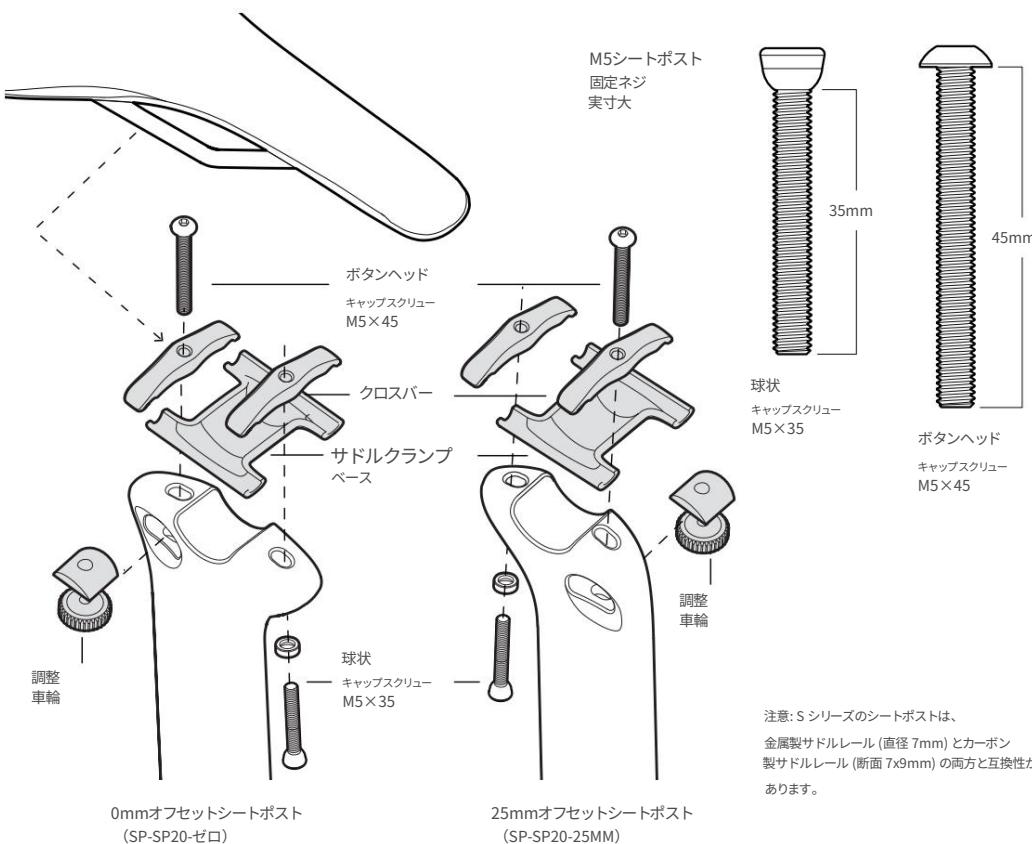
7. シートポストの上面の半径部分にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布します。

8. 図に従って、下部サドルクランプベースを取り付けます。

9. サドルレールを上部と下部のクランプ面の間に配置します。

10. 最後に調整ホイールを使用して、希望のサドル角度を確立します。

11. 対側の角度調整ネジを締めてサドルを8~9Nmで固定します。



シートポストの切断手順

注: Cervélo Aeroシートポストはすべて、後端に45度の面取り加工が施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

1. シートポストの插入を最小6.5cm、最大8.5cmに維持するように注意しながら、慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用して、シートポストの切断位置を正確にマークします。

2. SシリーズシートポストをPark Tool SG-7.2ソーガイド(または同等品)に挿入し、ツールのブレードガイドを通してカットオフラインがはっきり見えるようにします。

3. カーボン複合材の切断専用に設計されたブレード(または1インチあたり32個以上の歯を持つ細かい歯のブレード)を使用して、シートポストの切断に進みます(Park Toolの指示に従ってください)。

4. 細かい目のサンダペーパーを使用して、切り口のほつれやバリを取り除きます。切り口から約10cm離れたところにクランプを置きます。

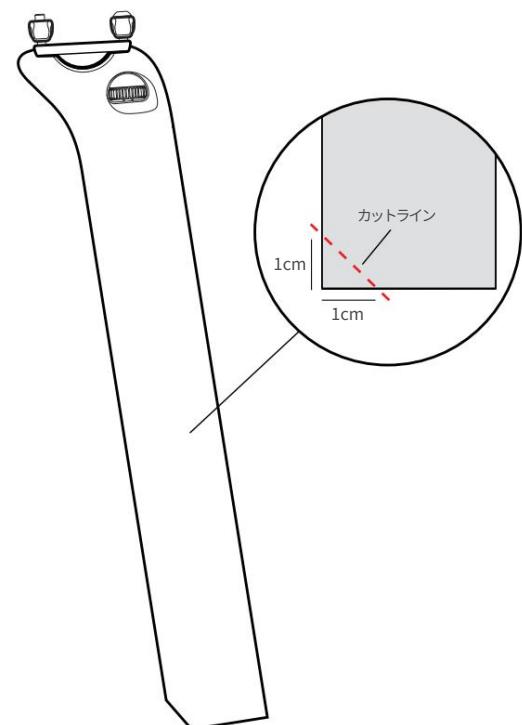
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から1cmの点を、そしてシートポストの後ろから1cmの点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きます。

6. のこぎりの刃をグリースペンシルの印に慎重に当てます。カットを続行すると、シートポストの後端に45度の面取りがカットされます。

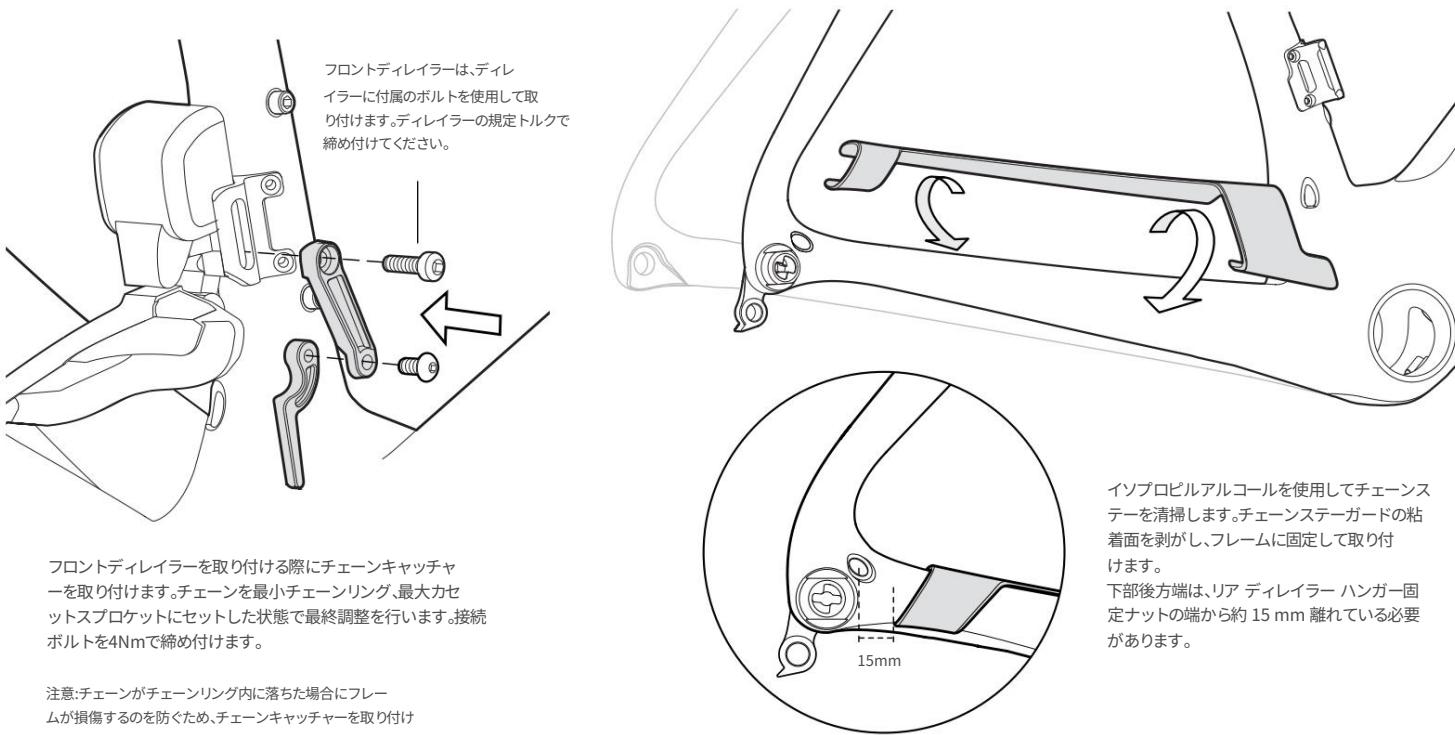
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに戻します。

WARNING

トリミングが必要な場合は、最終的な長さはフレームにシートポストが最低6.5cm残るようにしてください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

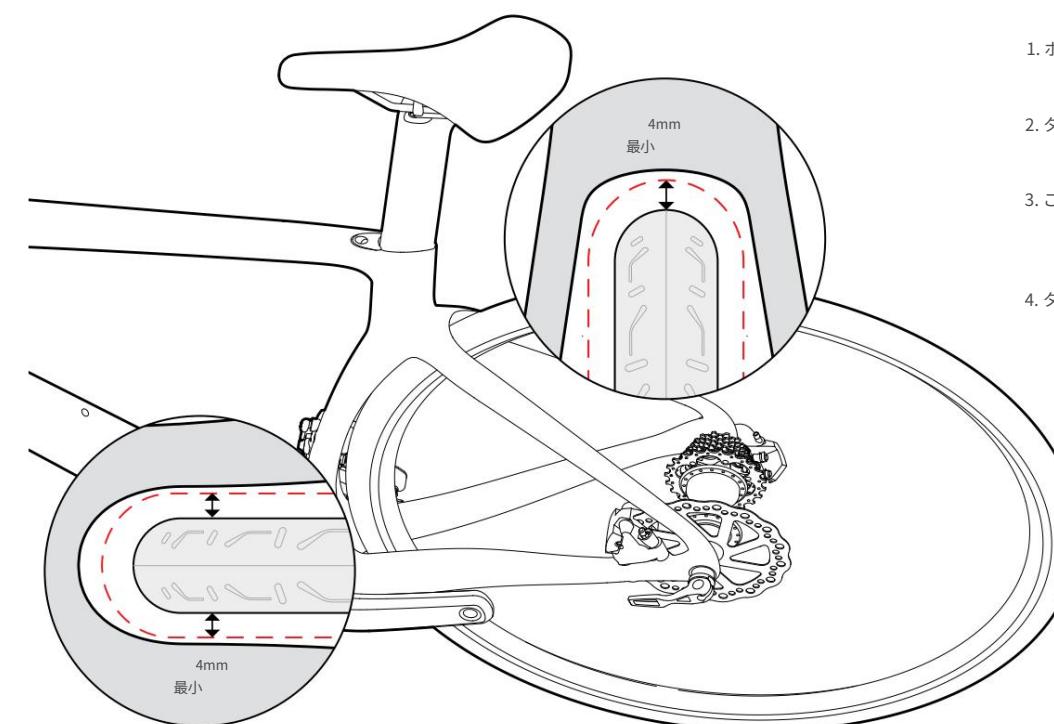


フレーム保護の取り付け



タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



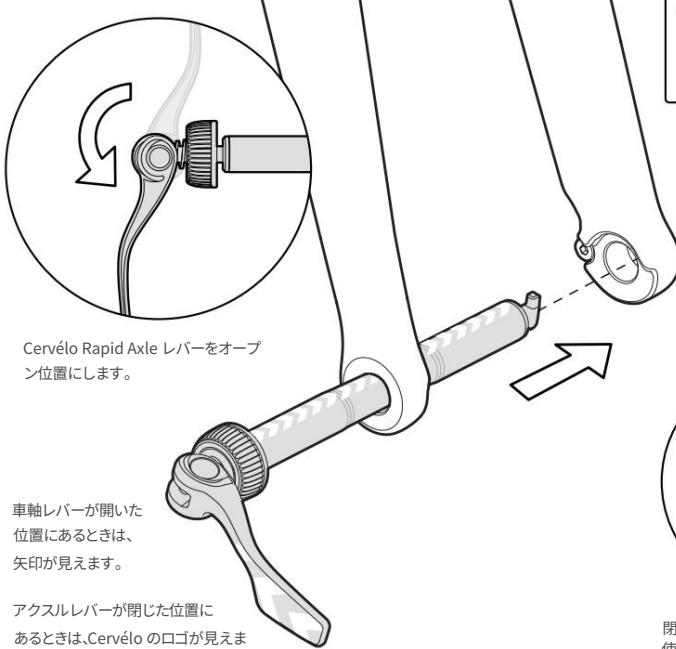
WARNING

タイヤとフレームの接触
フォークすると制御が失われる可能性がある
走行中に転倒し、重大な怪我を負う可能性
があります。これらのガイドラインに従わない場合、Cervélo限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

迅速な車軸ホイールの取り付け

WARNING

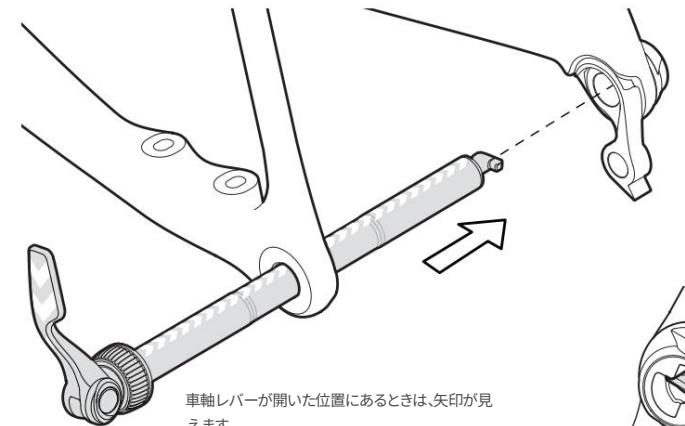
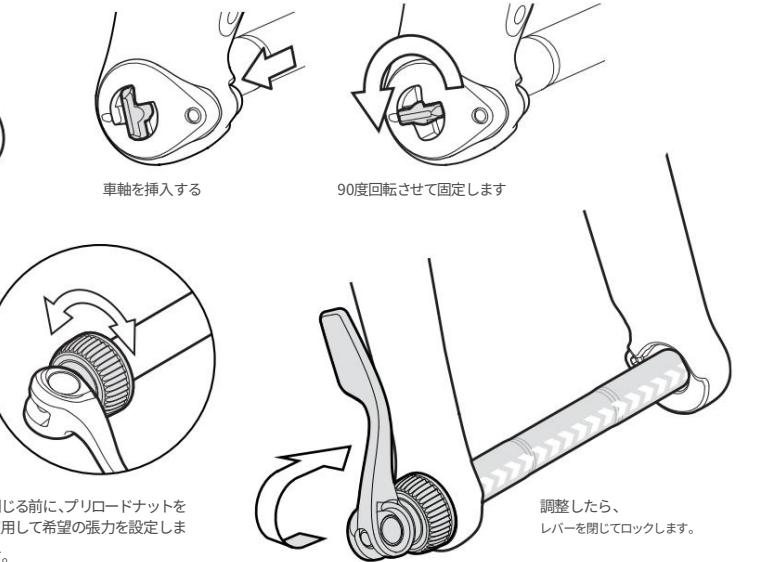
ライダーの安全を確保するためには、Cervelo Rapid Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、転倒につながり、ライダーが重傷を負う可能性があります。



前輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、ドライブサイドのドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのT字型エンドをインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、T字型エンドがインサートに当たらない位置まで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

WARNING

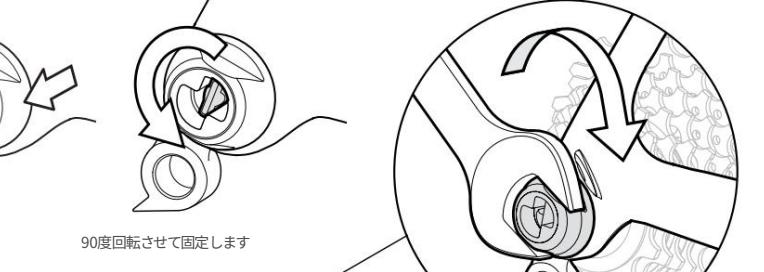
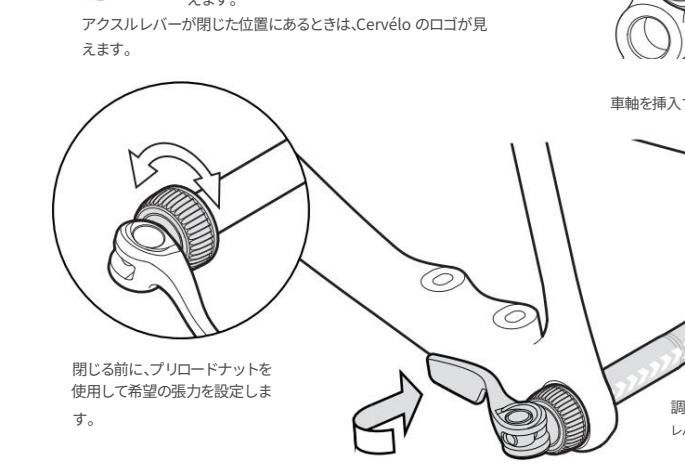
レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにフォークの脚の周りに指を巻き付ける必要があります。



後輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、非駆動側のドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのTエンドをディレイラーハンガーのインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、Tエンドがインサートに当たって止まるまで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

WARNING

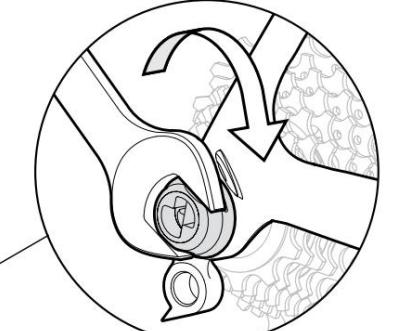
レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにチェーンステーに指を巻き付ける必要があります。



17mmレンチを使用して、リアディレイラーハンガー固定ナットを最終締め付けします。この作業は最初の組み立て時にのみ行うもので、その後の調整は必要ありません。

WARNING

製造元の指示に従ってブレーキを調整します。
メーカーの指示に従ってシフトを調整します。



2019 S5 リテーラー組立マニュアル

CER-S5-V2 2018年8月24日

